



平成28年1月13日

河川における魚類のへい死の発生について (第2報)

平成28年1月8日付けで発表しました「河川における魚類のへい死の発生について」に関して、原因の調査及び水質分析を実施していましたが、調査結果をお知らせします。

1. 調査結果

1) 現地で採取した水の分析結果

pH、DO、六価クロム、農薬類（160種類）について検査した結果は別紙のとおりです。

※分析機関：岡山県環境保健センター

2) 1月12日に現地状況を目視により確認。 その後の魚のへい死はありませんでした。

2. 今後について

今後、特段の異常が見られない場合、本件で情報提供を終わります。

問 い 合 わ せ 先

岡山三川水質汚濁防止連絡協議会 事務局
中国地方整備局 岡山河川事務所
電話 086-223-5196 (防災情報課直通)
【担当者】 副所長(調査) 川島 明昌 (内線204)
防災情報課長 ^{こばたけ} 小畑 哲也 (内線281)

なお、水質の分析結果に関する問い合わせ先は以下にお願いします。

岡山県環境文化部 環境管理課
電話 086-226-7301
【担当者】高橋、井戸

平成28年1月8日に初瀬川で発生した魚類のへい死事象
における河川水等の分析結果

1 分析結果

採水地点 項目	No. 1 (上流)	No. 2* (貯留水)	No. 3* (貯留水放流口直下)	No. 4 (下流)
採水日時	1月8日 14:20	1月8日 13:45	1月8日 12:08	1月8日 14:05
pH	7.7	7.7	9.2	9.5
DO (溶存酸素量) (mg/L)	12	5.7	13	15
六価クロム (mg/L)	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
農薬類 (160種類)	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず

*No. 2 : 魚のへい死が確認された付近において実施されている河川工事（県発注）の現場内貯留水（現場内の湧水を一時貯留し、適宜、初瀬川に排水）

*No. 3 : 貯留水をポンプで初瀬川に放流している放流口直下の河川水

2 見 解

水質検査の結果、各試料の分析結果は、直ちに魚がへい死する値ではないものの、上流側の河川水質のpH及びDOに異常はなく、へい死通報後数時間が経過した下流側の河川水でpH9以上が確認されたこと及び貯留水のDOが河川水と比べ低かったこと等を考慮するとpH及びDOが影響した可能性は否定できない。

なお、併せて検査を行った農薬類及び六価クロムは検出されなかった。

採水地点

